

北竜の森から

空知森林管理署北空知支署 恵岱別・深川森林事務所

恵岱別森林事務所：住所 北海道雨竜郡北竜町字和2番地の6

北竜町のみなさんに国有林のいろいろな情報を毎月お届けします。

>>> our forest

森林セラピー(療法) とは・・・



(上記の写真は造林地林内の様子です。)

森林には、さまざまな機能があり、その代表的なものとして、木材の生産をはじめ、国土の保全や水源のかん養などがありますが、これらの機能のほかに、昔から、森林散策(森林浴)を代表とした森林には安らぎや健康回復・維持等の機能、いわゆる保健休養機能があるとされています。

森林セラピー(森林療法)とは、森林の地形や自然を利用した医療、リハビリテーション、カウンセリングなど、森林環境を総合的に使いながら健康を増進していく取り組みであり、森林レクリエーションを通じた健康回復・維持・増進活動でもあります。

ヨーロッパにおいては、森林と温泉地を活用した、森林療法の実践例があり、日本でも、近年、注目されており、道内各地で森林セラピーなどの取り組みが進められています。

まだ、大雪に覆われた山々では「地況林況調査(森林調査)」が進められています。今回調査を行っている箇所は、昭和40年代前後に植栽が行われた人工造林地を中心に旧深川営林署管内(深川・恵岱別・恵比島森林事務所)において計画的な調査を進めています。これは、生長力旺盛な森林を育てるための「間伐」の実施に必要なデータ収集を行うためのもので、林内の生育状況や立木密度等を把握するために、植栽木の直径、樹高、本数、天然木の侵入状況などを調査しています。

航空写真(空中写真)などからの森林写真からも

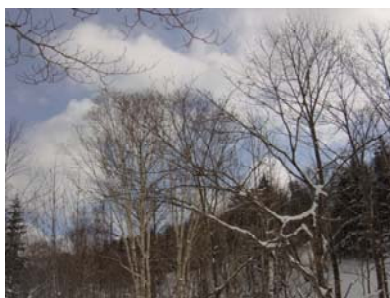
(右の写真は調査を行っている様子です。)



大まかなデータは、得られる昨今ですが、「森林」という生き物を扱うには、やはり、実際に山に入り、くまなく歩き、よく見る、という作業が不可欠です。残雪が無くなるまで調査地へ向う毎日です。

スノーモビル・スキーで調査地へ向う毎日ですが、日ごとに暖かさが春めくのを感じられずにいられません。山々の木々も新芽がほころび、春の気配を感じられ、また、鳥たちのさえずりも良く聞こえるようになりました。

3月は、平成17年度の年間事業の総決算の月であり、(右の写真は天然林の様子です。)



春に向かって一進一退を繰り返すこの季節。良い天気が続く「このまま春になればいいのにな」との街の声も時折の雪が降り、また、冬へ逆戻り。でも、もう少しの辛抱。暖かい季節はすぐそこまで来ています。また、営農の準備も始まり、今年も豊作になるよう祈っています。

施業管理計画策定に必要な森林調査実行中。

フォレスター通信 春に向かって・・・



地球を守るみんなの財産 国有林

森林は、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、幹などに貯蔵することにより地球温暖化防止への貢献が期待されています。また、農林水産省では「農業」、「林業」、「漁業」といった各方面から地球温暖化防止への総合的な取り組みも行っています。